

講義コード	1311	科目区分	専門教育科目(ビジネス文化専攻)
(フリガナ)	インターンシップ	(フリガナ)	イ ムンサン
授業科目名	インターンシップ	担当教員名	李 文相
英文授業科目名	Internship		
基準年次(開講期)	3年次(前期)	履修形態	選択
曜日/時限/講義室	集中		
授業の方法	講義&実習	授業の方法 (詳細情報)	講義&実習
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	マナー、職業意識、コミュニケーション、エチケット、職場体験		
授業概要・目的	<p>本授業の主なポイントは次の3つです。</p> <p>1) 専門分野を活かした企業を選定し、申込み。</p> <p>2) 講義や演習を通じて職業意識や職業人としてのマナーを学ぶ。</p> <p>3) 5日間の実習内容をまとめ、実習報告書を作成する。</p>		
到達度評価の 評価項目	<p>到達度評価項目は次の三つです。</p> <p>1) 就業体験を通じ、実際の企業に対する感想と働くことへの意欲。</p> <p>2) 企業の要請に応じた行動ができるかどうか。</p> <p>3) 就業体験によって、自己の職業選択に確信が持てるかどうか。</p>		
授業計画			
第1回	<p>ガイダンス</p> <p>授業の進め方と履修上の留意点。テキストの案内等。</p>		
第2回	<p>職業意識の持ち方</p> <p>インターンシップの基本的な内容と意義について知る。</p>		
第3回	<p>インターンシップ申込みの手順について</p> <p>「山口県インターンシップ協議会」への申込みの手順や志望理由書の書き方について实际的に学ぶ。</p>		
第4回	<p>企業へのエントリー</p> <p>実習希望先への志望理由書を完成させてエントリーする。</p>		
第5回	<p>先輩の実習報告書や実習経験の冊子に目を通す</p> <p>実習報告書を読み、先輩の経験を参考にしてインターンシップへの理解を深める。</p>		
第6回	<p>希望先の企業研究と目標設定</p> <p>企業案内やパンフレット、インターネット等で調べ、企業についての理解を深め実習期間中の目標を設定する。</p>		
第7回	<p>インターンシップの行動マナー(1)</p> <p>基本的な挨拶、服装、職業人としてのTPO(Time, Place, Occasion)等を学ぶ。</p>		
第8回	<p>インターンシップの行動マナー(2)</p> <p>電話対応、接客マナー等を実践で学ぶ。学生同士のロールプレイによって理解を深める。</p>		
第9回	<p>実習報告書とお礼状の書き方</p> <p>インターンシップ報告書の様式や受入れ企業に対するお礼状の書き方等を習得する。</p>		
第10回	<p>インターンシップ実地研修(1)</p> <p>8月中旬～9月中の4～5日間、受入れ企業のプログラムに沿って行う。</p>		
第11回	<p>インターンシップ実地研修(2)</p> <p>8月中旬～9月中の4～5日間、受入れ企業のプログラムに沿って行う。</p>		
第12回	<p>実地研修(3)</p> <p>8月中旬～9月中の4～5日間、受入れ企業のプログラムに沿って行う。</p>		
第13回	<p>インターンシップ実地研修(4)</p> <p>8月中旬～9月中の4～5日間、受入れ企業のプログラムに沿って行う。</p>		
第14回	<p>インターンシップ実地研修(5)</p> <p>8月中旬～9月中の4～5日間、受入れ企業のプログラムに沿って行う。</p>		
第15回	<p>実習報告書とお礼状の提出について</p> <p>実習報告書の作成、お礼状の作成と発送、インターンシップ体験報告会等を行う。</p>		
教科書・参考書等			
授業で使用する 機器等			
予習・復習への アドバイス	・意見交換会に即応できるように、新聞等によって職業意識を高めておく。		
履修上の注意・ 受講条件等	・3年生からの科目であるが、2年生の内に体験したい職種を決めておくこと。		
成績評価の基準等	<p>以下の観点で評価する</p> <p>1) 授業に取り組む姿勢(30/100)</p> <p>2) 意見発表(30/100)</p> <p>3) インターンシップ報告書・お礼状の内容(40/100)</p>		
メッセージ	遅刻厳禁。授業中の携帯電話は電源を切る。実習後のインターンシップ報告書とお礼状は不可欠。		
オフィス・アワー	火曜日の午前(9:00-12:00)		
その他	・「山口県インターンシップ協議会」から専門家を派遣していただき、講義をしていただく。		